

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-131	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	コ I ・ 342	Revised POLESTAR English Communication I		

1. 編修の趣旨及び留意点

多様な言語活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、情報や考えを理解し、英語で自分の考えを伝えるための基礎力をつけられるように配慮した。

2. 編修の基本方針

編修の基本方針として、「英文を読んでその内容を自分の言葉で説明し、最終的に自分の意見を発信できるようにすることを目指す教科書にする」ことを目標にしている。それを達成するために、以下の点に留意した。

- (1) 題材については、読んだ後生徒自身が考え、自分に何ができるかを表現し、グローバルに活躍するための発信力及び豊かな人間性、創造性の養成を目指すものとした。
- (2) 説明や物語などを読んで要点を理解するだけでなく、それを読んで自分はどう思ったのかを表現させる機会を設けるため、基本レッスンは「本文+会話文」の二部構成にした。
- (3) 授業中にコミュニケーション活動や英語による発話の機会が十分取れるように、Lesson 1-10 に関しては各 Part ごとに **Say It in Your Own Words** (英語で本文の内容を説明する設問)、また適宜ペアワークができる設問を掲載した。その他の頁 (Optional Lesson, Reading, Real-World English) でも、ペアワークができる設問を掲載している。
- (4) 英語による授業を円滑に進められるように、問題指示文等は英語を使用した。

上述した内容・構成によって、学習者が多様な知識と教養を身につけ、主体的に社会の形成に参画し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し English Directions in This Textbook 後見返し CLASSROOM ENGLISH	・教室で用いる基礎的な英語表現を身につけさせる。(第1号) ・相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う(第3号)	前見返し I・II 後見返し III・IV 写真全般

Lesson 1～10	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな内容の英文を読み、活動を行うことによって、幅広い知識と教養を身に着ける。(第1号) ・平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号) ・和食に関する英文を読み、日本の伝統と文化を尊重する態度、及び他国の文化を尊重する態度を養う。(第5号) ・ペットボトルに関する英文を読み、リサイクルと環境保全に関する意識を高める。(第4号) ・冒険家 石川直樹に関する英文を読み、他者の尊重や自他の敬愛と協力に対する態度を養う。(第3号) ・テカポの星空に関する英文を読み、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号) ・『アメイジング・グレイス』に関する英文を読み、正義と責任、及び人種の平等に対する態度を養う。(第3号) ・シエラレオネの「紛争ダイヤモンド」についての英文を読むことにより、物事の二面性や経済格差などについて考え、社会の平等や正義について議論する機会をもてるように配慮した。(第3号) ・「溶けないアイスクリーム」を開発した大学生に関する英文を読み、創造性を喚起するとともに、職業及び生活との関連を重視する態度を養う。(第2号) ・俳句に関する英文を読み、日本の伝統と文化を尊重する意識を養う。(第5号) ・スティーヴン・サットンの生涯に関する英文を読み、自他の敬愛と協力に対する意識を高め、主体的に社会に参画する態度を養う。(第3号) ・米国人写真家ジョー・オダネルの生涯や彼の撮影した終戦直後の長崎の写真を鑑賞することにより、国際社会の平和と発展について考える機会がもてるように配慮した。(第5号) 	<p>全般</p> <p>Lesson 1 (5～18 頁)</p> <p>Lesson 2 (19～32 頁)</p> <p>Lesson 3 (35～48 頁)</p> <p>Lesson 4 (49～62 頁)</p> <p>Lesson 5 (65～78 頁)</p> <p>Lesson 6 (79～92 頁)</p> <p>Lesson 7 (95～108 頁)</p> <p>Lesson 8 (109～122 頁)</p> <p>Lesson 9 (125～138 頁)</p> <p>Lesson 10 (139～152 頁)</p>
Optional Lesson	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチに関する英文を読み、幅広い知識と教養を身に付けることを目指している。(第1号) 	156～161 頁
Reading	<ul style="list-style-type: none"> ・オスカー・ワイルドの名作を読み、幅広い知識と教養を身に付けることを目指している。(第1号) 	162～169 頁
Real-World English 1～3	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の英文記事の形式で英文を読むことができるように配慮し、幅広い知識と教養を身に付けることができることを目指している。(第1号) 	170～175 頁
Sound Square	<ul style="list-style-type: none"> ・発音に関する解説と練習のための設問を用意し、発音に関する正しい知識を習得しつつ実践していくことを目指している。(第1号) 	176～181 頁

<ul style="list-style-type: none"> • Communication Strategies • Expressions for Communication Strategies 	<ul style="list-style-type: none"> • コミュニケーションの場面で使用する機能表現を体系立てて学べるように配慮している。(第1号) 	<ul style="list-style-type: none"> • 18, 32, 48, 62, 78, 92, 108, 122, 138, 152 頁 • 182~183 頁
--	---	---

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

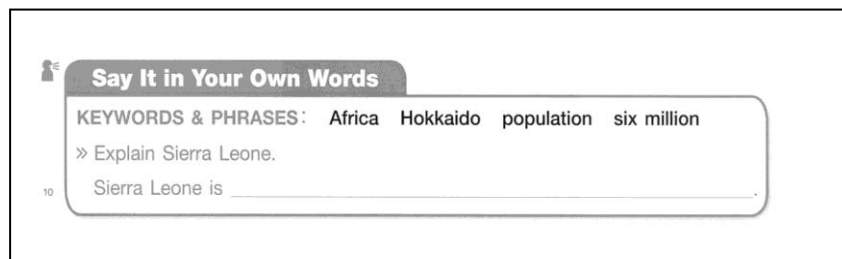
I. 教科書の特色

- (1) コミュニケーションで役立つ機能表現を学び、自ら発話しようとする態度を養成するための設問や会話文等を全編に渡り掲載した。
- (2) 自分はどう思うかを考えさせる題材を扱うことで、自らの個性を確立し社会について広く深い理解と健全な批判力を養えるように配慮した。
- (3) 本文の各 Part にリスニング問題、内容理解問題、発話させたり書かせたりする設問を配置することによって、英語の四技能をバランスよく学ぶことができるように配慮した。
- (4) 発展的な学習内容と判断した箇所は「Further Activities」として扱い、通常の Lesson とは体裁を変え、語彙リストも別立てとした。
- (5) 親しみやすい教科書にすることを心がけ、写真やイラストを多数挿入し、視覚的にも理解が容易になるようにした。

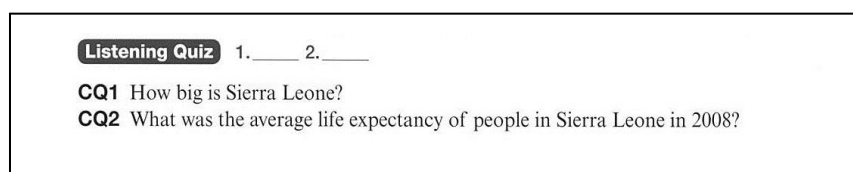
II. 各課の構成

A. 正課：議論につなげられる読み応えのある題材を 10 題掲載

1. **Pre-reading Questions:** 写真に関する対話を聴いて、英語の質問に答えるリスニング問題を設けた。
2. **Let's Talk!:** 本文に入る前にペアまたはグループで話し合うための質問文を設けた。
3. **本文:**
 - a) 本文中の課末で扱う言語材料を含む文には対応番号を明示した。
 - b) 各 Part に、本文の内容を自分の言葉で説明する活動 (Say It in Your Own Words) を設けた。



- c) 各 Part に、内容理解を確認するための Listening Quiz, CQ (Comprehension Quiz) を設けた。



4. 課末: 本文の内容確認と言語材料の習得

- a) 図式化された **Route Map**, 要約文の **Summary** で本文全体の概要をつかむ。
- b) **KEY LANGUAGE** で言語材料を確認し, **Drills** で簡単な練習問題を解く。
- c) **EXERCISES** でリスニング, 語彙, 文法の問題を解き, 最後にペアワークを行う。
- d) **FURTHER EXERCISES** で言語材料に関するやや発展的な問題を解き, 定着を図る。

5. **Communication Strategies**: 題材に関する会話文を読んで, 機能表現を学び, その活用を図る。

Lesson 6

Communication Strategies

▶▶▶ *I can apologize to somebody.*

Mr. Jones: Have you watched the DVD of *Blood Diamond* I lent you ?

Mary: Yeah, I watched it last night. But I'm sorry—I forgot to bring it today.

Mr. Jones: Oh, no problem. How was it? Did you like it?

Mary: Yes, it was great, but I felt sad for the children in Sierra Leone. I hope I'll be able to do something to help children like that someday.

Mr. Jones: Oh, you should talk to Yuko, then. She's thinking about joining a volunteer program to help African children.

Your Turn

» Express your thoughts or ideas.

1. Point out a phrase to apologize.
2. Explain your thoughts about what we can do for children in Sierra Leone.

Extra Activity

KEYWORDS & PHRASES :
west coast Hokkaido Africa population

» Explain this picture.
Sierra Leone is _____

- a) 冒頭の囲みでは, **I can apologize to somebody.** のように各課で扱う機能表現を明示した。
- b) 会話文では, その課で扱う機能表現が実際の会話でどのように使われるかを示した。
- c) **Your Turn** では, 機能表現を確認した後, 題材に関する自分の意見を発表するための設問を設けた。
- d) **Extra Activity** では, 本文中で使用された写真について, 自分の言葉で説明する活動を設けた。

B. 補充演習・コラムなど

- 1. **Reading Skills 1-5**: リーディング・スキルの解説ページを 2 課ごとに掲載。本文をサンプルにしなが, 効果的に読むためのスキルを習得できる。
- 2. **Show Your Performance 1-3**: スピーキング, ライティングといった活動を評価するための特集頁。学期ごとに行えるように配置した。
- 3. **Communication Tips 1-3**: 異文化理解を促すために, 知っておきたいことを解説したコラム。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-131	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	コ I ・ 342	Revised POLESTAR English Communication I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

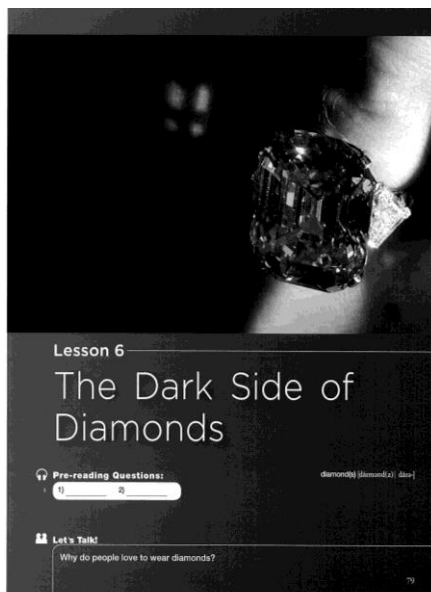
- A.** 本教科書の編集にあたっては、「多様な言語活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、情報や考えを理解し、英語で自分の考えを伝えるための基礎力をつけられるように配慮する」ことを最大の目標としている。そのために、まず Lesson 1～10 では効果的に英語の文章を読む方法 (Reading Skills) を意識しながら文章を読み、各 Lesson に設定されている表現活動でコミュニケーション活動を行う。
- B.** 本文各 Part には Listening Quiz と Say It in Your Own Words が盛り込まれており、課末では内容把握問題・文法語法確認問題も行い、4 技能を絡めて統合的に学んでいく作りになっている。加えて各 Lesson の最後にある Communication Strategies では、題材に関する会話文を読み、生徒に自分の意見をまとめることを促す活動を行い、自己表現活動につなげている。
- C.** 教育基本法に配慮し、世界の事柄や環境問題に広く目を向けると同時に、日本の文化や伝統にも造詣を深められるように、バラエティに富んだ題材をバランスよく選んでいる。

II. 教科書の構成

A. 本課

1. 導入

①



②

③

① トピラ: 題材への興味を喚起する写真

② Pre-reading Questions :

写真に関する対話文を聴いて、質問に答える

③ Let's Talk! :

本文に入る前にペアまたはグループで話し合うための質問文

2. 本文

Lesson 6 The Dark Side of Diamonds

For a long time, diamonds have been popular in rings. They are seen as bright and beautiful. However, some diamonds have a dark side.

①

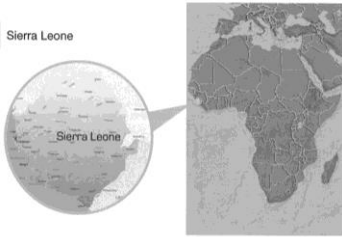
②

Sierra Leone
[sierra li:ən, -əni]
square [skwɜː]

Sierra Leone
Do you know Sierra Leone? It is a country on the west coast of Africa. Covering about 70,000 square kilometers in size, it is a little smaller than Hokkaido. The population in 2008 was about six million.

Sierra Leone is one of the poorest countries in Africa. About 60% of the people live on no more than one dollar a day. In 2008, the average life expectancy in the country was only 42—one of the lowest in the world.

Sierra Leone



main [meɪn]
rebel(s) [ri:bel]
gun(s) [gʌn]
mine(s) [maɪn]
unhappiness [ʌnhæpɪnəs]

The main reason for the country's problems was a war that lasted from 1991 to 2002. It was a war between the government and a group of rebels. These rebels bought guns using diamonds that came from Sierra Leone's mines. Diamonds usually make people happy—but, to the people of Sierra Leone, they brought only unhappiness.

A market in Sierra Leone (2011)

Say It in Your Own Words

KEYWORDS & PHRASES: Africa Hokkaido population six million

> Explain Sierra Leone.

Sierra Leone is _____

④

③

Listening Quiz 1. _____ 2. _____

CQ1 How big is Sierra Leone?
CQ2 What was the average life expectancy of people in Sierra Leone in 2008?

⑤

- ① **導入文**：題材にすんなり入っていきけるように、各 Lesson 本文の前に導入文を掲載した。
- ② **本文**：本文中に課末で解説している言語材料やリーディング・スキルのポイントが登場する箇所については、対応番号や頁数を明示。また、新出語は参照しやすいように本文の横に側注を設けて示した。
- ③ **脚注**：重要表現や言語材料に関する例文を、脚注に示した。
- ④ **Say It in Your Own Words**：本文に書かれていることを、「自分の言葉で」説明するための設問を各 Part に設けた。
- ⑤ **Listening Quiz, CQ (Comprehension Quiz)**：本文の内容を確認するためのリスニング問題 (True or False) と英問英答問題を設けた。

3. 課末

Lesson 6 The Dark Side of Diamonds

①

Route Map Complete the outline.

1 About Sierra Leone

1. Facts about Sierra Leone → size: a little smaller than Hokkaido; population: about six million in 2008; the average life (●) : 42 in 2008

2. The war between the government and the (●) → the rebels bought guns using (●)

2 About blood diamonds

1. Diamonds that are used to pay for war: blood diamonds → a route called Blood Diamond

2. Rebels: forced people to work in diamond. (●) → over (●) children were taken by the rebels → some sent to the mines; others made to fight as soldiers

3. The ones who suffered most: (●)

3 The UN's action and the "Kimberley Process"

1. The UN's action against blood diamonds → in 1998, took up the problem → purpose: to stop the (●) of blood diamonds

2. A meeting in Kimberley → the Kimberley Process

3. The plan adopted by (●) in 2002 → blood diamonds on the market: fell to less than one percent

4. (●) countries were part of this process by Dec. 2009

4 The dream of a boy from Sierra Leone

1. What the country is like today → (●) is still common

2. A boy's dream: the (●) of his country → (●) is more important than diamonds

children: expectancy vice-president peace 5,000 sale
diamonds: rebels poverty mines the U.N. 75

②

Summary Fill each blank with a suitable word.

Sierra Leone is one of the (1) countries in Africa. The average life expectancy was only 42 in 2008. This situation was made by the (2) that happened between 1991 and 2002. The rebels bought (3) with diamonds. The rebels (4) local people including (5) to work in the diamond mines. The United Nations (6) a plan called the "Kimberley Process" in 2002 to control blood diamonds on the market. However, it is still possible to buy blood diamonds. Even after the end of the war, there were still many serious (7) in the country.

③

KEY LANGUAGE

① 現在分詞を用いる分詞構文「-ながら」「-のときに」 KL1

1. Covering about 70,000 square kilometers in size, it is a little smaller than Hokkaido. (p. 82, L. 5)

2. He explained his dreams for the future, saying that he wanted to become the vice-president of his country. (p. 87, L. 2)

3. Opening the door slowly, I saw an old man standing in the hall.

4. The boy entered the room, saying, "Good morning."

Drills Fill each blank with a suitable word.

1. As I knew her e-mail address, I sent her a message for her birthday.
→ () her e-mail address, I sent her a message for her birthday.

2. As Yuki walked along the river, she saw a fish swimming in the water.
→ () () the river, Yuki saw a fish swimming in the water.

3. Because Mari did not know what to do, she asked me for advice.
→ () () what to do, Mari asked me for advice.

② S+V+現在分詞 [doing] KL2

1. Sally came running to get her umbrella.

2. Peter went swimming in the pool last Monday.

3. He didn't have enough money to keep studying there. (p. 88, L. 9)
of. He kept studying there.

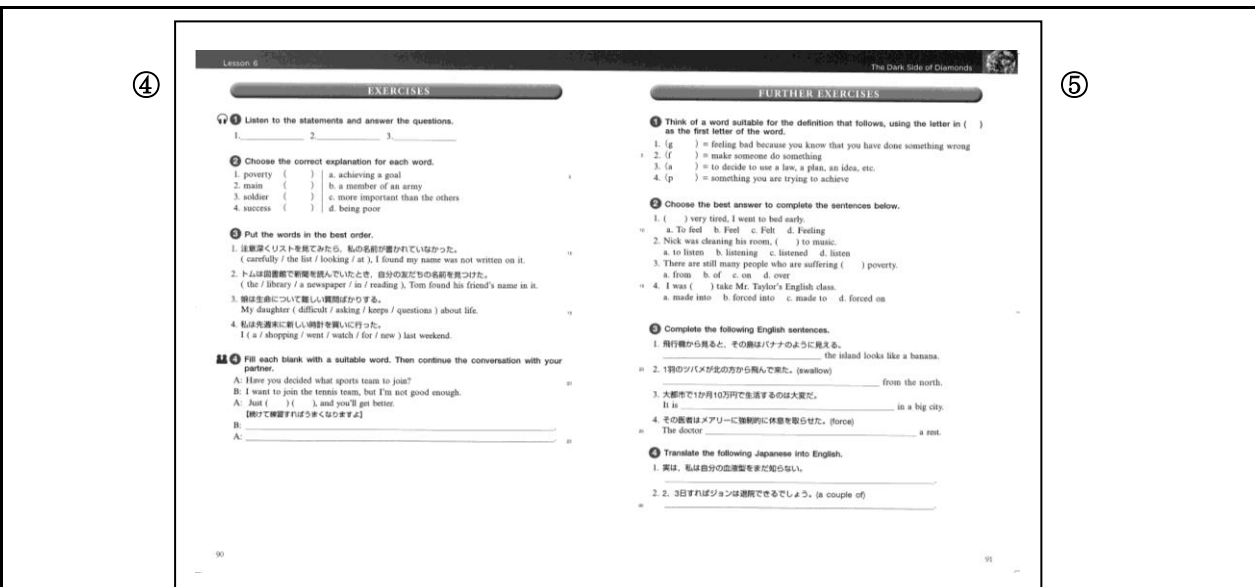
Drills Put the words in the best order.

1. Mike (kept / kept / without / walking) looking back at me.

2. Yumi (came / to / running) catch the bus.

3. Joe (shopping / will / go) next Sunday to buy a birthday present for his father.

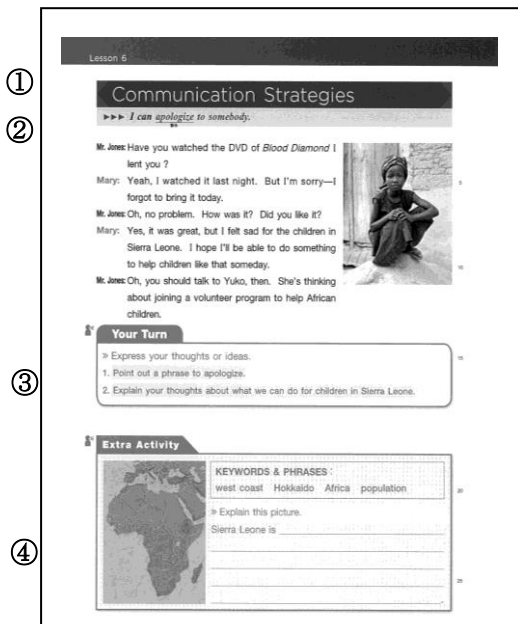
- ① **Route Map**：図式化された本文のまとめを完成し、概要をつかむ。
- ② **Summary**：キーワードを書き込むことによって、英文の本文要約文を完成させる。
- ③ **KEY LANGUAGE**：本文で学んだ言語材料を確認し、**Drills**で簡単な練習問題を解く。



④ **EXERCISES** : リスニング, 語彙, 文法の問題を解き, 最後に会話文の続きを考えるペアワークを行う。

⑤ **FURTHER EXERCISES** : 言語材料に関するやや発展的な問題を解き, 理解と定着を図る。

4. Communication Strategies



① **Communication Strategies** : 各課に **I can...** で示した strategy を設定。機能表現を体系的に学ぶ。

② **会話文** : 本文の内容に関連した会話文。Strategy の表現が盛り込まれており, 題材について考えることを促す内容。

③ **Your Turn** : Strategy の表現を確認した後, 題材に関する自分の考えを述べる活動につなげる。

④ **Extra Activity** : 本文中で使用された写真について, 自分の言葉で説明する活動。

B. その他の構成要素

1. **Reading Skills 1-5**: リーディング・スキルの解説ページを 2 課ごとに掲載。本文をサンプルにしながら, 効果的読むためのスキルを習得する。

2. **Show Your Performance 1-3**: スピーキング, ライティングといった活動を評価するための特集頁。学期ごとに行えるように配置した。

3. **Communication Tips 1-3**: 異文化理解のために, 知っておきたいことを解説したコラム。

4. **Optional Lesson, Reading, Real-World English 1-3**: 多彩な内容の補足の読み物。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	箇所	配当 時数
前見返し English Directions in This Textbook 後見返し CLASSROOM ENGLISH	<内容> (2)-ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。	前見返しⅠ・Ⅱ 後見返しⅢ・Ⅳ	1
Lesson 1～10 Reading Skills 1～5	<内容> (1)-ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (1)-イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (1)-ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 (1)-エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2)-ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 (2)-イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 (2)-ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。 <内容の取り扱い> (1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れながら、四つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的に指導するものとする。 (2) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。 <〔言語の使用場面の例〕の取り扱い> a 特有の表現がよく使われる場面 ・買い物・旅行・食事・電話での応答 / 手紙や電子メールのやり取りなど b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面 ・家庭での生活 / 学校での学習や活動 / 地域での活動 / 職場での活動など c 多様な手段を通じて情報などを得る場面	各レッスン Pre-reading Questions 各レッスン本文, Route Map, Summary 各レッスン Let's Talk!, Say It in Your Own Words, Your Turn 各レッスン Say It in Your Own Words, Your Turn, Extra Activity 各レッスン Pre-reading Questions, Say It in Your Own Words, Listening Quiz, EXERCISES ①, Your Turn Reading Skills 2 (63 頁), Reading Skills 3 (93 頁), Reading Skills 4 (123 頁), Reading Skills 5 (153 頁), 各レッスン Communication Strategies 各レッスン Let's Talk, Pre-reading Questions, Say It in Your Own Words, Listening Quiz, Your Turn Lesson 1～3 の KEY LANGUAGE (中学既習の文法事項を中心に扱う) 18, 48 頁, Lesson 9 (127, 130, 131, 132 頁) 32, 62, 78, 92, 108, 122, 152 頁 Lesson 9 (126～133, 138 頁)	55

	<p>・本、新聞、雑誌などを読むこと/ 情報通信ネットワークを活用し情報を得ること</p> <p>< [言語の働きの例] の取扱い ></p> <p>a コミュニケーションを円滑にする</p> <p>・相づちを打つ / 聞き直す / 繰り返す / 言い換える / 話題を発展させる など</p> <p>b 気持ちを伝える</p> <p>・褒める / 謝る / 感謝する / 心配する / 望む / 驚く / 心配する など</p> <p>c 情報を伝える</p> <p>・説明する / 報告する / 描写する / 理由を述べる / 要約する / 訂正する など</p> <p>d 考えや意図を伝える</p> <p>・申し出る / 賛成する / 反対する / 主張する / 推論する / 仮定する など</p> <p>e 相手の行動を促す</p> <p>・依頼する / 誘う / 許可する / 助言する / 命令する / 注意を引く など</p> <p><文法事項></p> <p>(7) 不定詞の用法</p> <p>(i) 関係代名詞の用法</p> <p>(j) 関係副詞の用法</p> <p>(e) 助動詞の用法</p> <p>(オ) 代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの</p> <p>(カ) 動詞の時制など</p> <p>(キ) 仮定法</p> <p>(ク) 分詞構文</p>	<p>各レッスン会話文</p> <p>Communication Strategies (78, 92, 152 頁)</p> <p>各レッスン Say It in Your Own Words</p> <p>各レッスン Communication Strategies の Your Turn</p> <p>Communication Strategies (32, 62, 108 頁)</p> <p>Lesson 1 (15 頁), Lesson 2 (29 頁)</p> <p>Lesson 3 (45 頁)</p> <p>Lesson 5 (75 頁)</p> <p>Lesson 8 (119 頁)</p> <p>Lesson 1 本文 (8, 12 頁), Lesson 2 本文 (23 頁)</p> <p>Lesson 3 本文 (42 頁) 他</p> <p>Lesson 2 (29 頁), Lesson 4 (59 頁), Lesson 5 (75 頁)</p> <p>Lesson 8 (119 頁), Lesson 9 (135 頁), Lesson 10 (149 頁)</p> <p>Lesson 6 (89 頁)</p>	
Show Your Performance 1~3	<p><内容></p> <p>(2)-ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>(2)-イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>	64, 124, 155 頁	6
Optional Lesson Reading Real-World English 1~3	<p><内容></p> <p>(1)-イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>	156~175 頁	12
Sound Square	<p><内容></p> <p>(2)-ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>	176~181 頁	4
		計	78

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-131	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104・数研	コ I ・342	Revised POLESTAR English Communication I		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項
170～ 175	Further Activities: Real-World English 1～3	1	第 3 款 英語に関する各科目に共通する内容等 2 ア (ア) a 「コミュニケーション英語 I」にあつては、中学校で学習した語に 400 語程度の新語を加えた語

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 6)

- (備考) 1 ※欄は検定申請時には記入せず、検定合格後に提出する際に記入すること。
- 2 「ページ」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述の掲載ページを示す。
- 3 「記述」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述に付された表題等を示す。
- 4 「類型」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述について、以下の分類により該当する記号を記入する。
- ・ 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容…… 1
 - ・ 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容…… 2
- 5 「関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項」欄には、当該学年等の学習指導要領の内容や内容の取扱いに示すどの事項と関連があるのか分かるように記入する。
- 6 「発展的な学習内容の記述に係る総ページ数」については、発展的な学習内容の記述が掲載されているページの総数（1 ページ当たりの記述の分量にかかわらず 1 ページと数える。）を記入する。
- 7 別紙様式 10（編修趣意書（発展的な学習内容の記述））の分量は 2 ページ以内とする。